



議会の様子は「YouTube」で
配信されています。

一般質問

・財政健全化（歳出削減策）について



高田和幸

問

今年度当初予算のうち、4割以上を占める人件費及び物件費の削減策について伺う

答

人件費の抑制は重要な課題だと認識しています。引き続き適正な職員数を管理しながら、生産性を高めていきます。物件費の抑制は、施設の適切な維持管理を実施する一方で業務の見直しを行い、作業効率を高めていきます。

問

人件費のうち、時間外手当の抑制策は

答

時間外勤務の要因を見極め、業務の分担や効率化を図り、柔軟な働き方を推進します。

問

各課への適正な人事配置が行われなければ、業務分担や効率化が図れないのでは

答

各課において業務内容や責任範囲が異なりますが、引き続き適正な人事配置を行います。臨時的任用職員を減らすにはどうしたらよいのか

答

業務の更なる効率化、正規職員の適切な配置、外部委託の活用、多能工に対応できる職

員の育成が必要です。

問

市民サービスに伴う業務委託について今後の見通しは

答

オンラインサービスやキオスク端末機への利用促進を図っていきます。

問

財政状況が向上くまで市役所の業務を必要最低限に絞り、運営する考えはないか

答

市の業務は専門性の高い分野での対応が求められます。新たな行政課題に対応するため、効果的な行政運営に努めます。

問

多様化する住民ニーズに対応するためにはお金が必要です。どこまでやるのか、何が必要かを見極めることが大切です。

部や課を統合し、管理職を減らすことで人員を確保し、業務委託を職員で対応するなどの新しい組織や人事体制の刷新ができないか

答

今、何が一番大切なのかを考えています。専門性と広い知識を兼ね備えた職員が必要であり、若手の育成に力を入れていきます。

一般質問

- ・市内の小中学校の学校生活について
- ・中学校の部活動の地域移行について
- ・教職員の働き方改革の状況と課題について



川口知幸

問

市内小中学校の不登校の現状を教育長に伺います

答

令和元年度以降、増加傾向です。小中学校の割合は、中学校が高い傾向にあります。ほぼ全国と同様の傾向で、本市でも大きな課題の一つです。

問

不登校児童生徒や保護者及び家族が現状を打開できるように、教育委員会や各学校はどのような対応をしていますか

答

児童生徒や保護者と連携を図り、落ち着いた空間で学べる環境を校内に設けたり、「しおかぜ先生」や「サンルーム」で自立支援を促し、市単独のスクールソーシャルワーカーを配置して相談体制の充実を図っています。

問

個にきめ細やかに対応する教育体制の充実とは、どのような施策か伺います

答

相談体制の充実及び市費で軽度発達障害トータルコーディネーターを配置し、保護者や学校からの要望に対応して発達検査や知能検査を実施して、子ども

の正確なアセスメントに努めています。また、5歳児健診を市独自で実施し、園と小学校の接続にも力を入れています。

問

中学校の部活動指導員を確保する手段と、受益者負担の軽減について伺います

答

各団体の方に地域移行の説明をし、人材確保に努めています。指導者や希望者が不足している種目は広報紙等で周知し、引き続き人材確保に努めます。過度な受益者負担とならないように研究をしていきます。

問

教職員の働き方改革の推進状況と課題について伺います

答

管内の小中学校では業務改善の結果、時間外勤務が減少傾向にあります。中学校では部活動終了時間を16時30分とし、時間外勤務の削減に取り組んでいます。しかし、突発的な生徒指導や面談など、課題は山積しています。過度な時間外勤務の解消のため、効果的な施策を検討していきます。